

# 「学力向上ポートフォリオ(小学校版)」

## 学力向上目標

### ○知識・技能の確実な習得と定着

- ・令和元年度さいたま市学習状況調査を実施し、算数の平均正答率を令和元年度結果より3ポイント向上させる。
- ・令和元年度さいたま市学習状況調査を実施し、国語の平均正答率を令和元年度結果より2ポイント向上させる。

### ○思考力・判断力・表現力の向上

- ・令和元年度さいたま市学習状況調査を実施し、算数の平均正答率を令和元年度結果より3ポイント向上させる。
- ・令和元年度さいたま市学習状況調査を実施し、国語の平均正答率を令和元年度結果より2ポイント向上させる。

### ○主体的に学習に取り組む態度の涵養

- ・市学習状況調査における「国語・算数は好き」「授業がよくわかる」の項目で、肯定的な回答の割合を令和2年度結果より平均2ポイント向上させる。
- ・市学習状況調査における「読書は好きですか」の項目で1ポイント向上させる。
- ・学習状況調査におけるタブレット活用調査項目において、市平均を上回る。

## 具体的な手立て

- ・タブレット等ICT機器を効果的に活用したアクティブ・ラーニングの視点に立った授業改善の推進と、それを支える校内研修の充実
- ・個別最適な学びの充実に向けた、ミライシード等を活用しレディネスの実施や習熟に応じた課題提示などの、個に応じた指導の拡充
- ・算数科の学習を中心としたTT及び少人数指導の充実
- ・国語の学習と連動した読書活動の推進
- ・校内の生活のきまりの見直しをよい機会とした、学習規律と基本的な生活習慣の確立

## 結果

- ・算数の全体の平均正答率は、H31年度平均から5ポイント向上が見られた。
- ・国語の全体の平均正答率は、H31年度平均から1ポイント低下した。
- ・生活習慣調査では、それぞれ「国語好き」18ポイント低下、「算数好き」10ポイント低下、「読書好き」5ポイント向上が見られた。

## 今年度の振り返り・次年度に向けて

- ・国語の読み物単元と連動した読書活動の推進により、読書の機会が増え、読書好きの子どもが増えた。
- ・正答率60%を下回った問題は、記述式の問題及び国語・算数ともに問いに対して正対できていないことに起因する誤答が多く、日々の教育活動で「問いに正対」させることを意識させていきたい。
- ・今年度機会が増えたICTの活用を、児童の習熟や楽しい授業につなげられるよう、タブレット等活用方法の改善や授業づくりについての研修をさらに深めていきたい。